

皮膚科のトリビア

182

浅井 俊弥
Asai, Toshiya

浅井皮膚科クリニック

〒240-0013 横浜市保土ケ谷区帷子町1-14

<http://www.asai-hihuka.com>

トリビア(trivia)=3を意味するtriと+道を意味するviaでもとは三叉路の意。古代ローマで三叉路が多かったことから「どこにでもある場所」、そこから転じて「瑣末なこと」となり、今では雑学的知識、豆知識、などを意味する言葉として定着している。

本欄は、小誌編集委員の浅井先生が学会・研究会などで見聞きした「皮膚科のトリビア」をその都度まとめ、連載しています。ご意見等ございましたら、ぜひ小誌「声」欄までお寄せください。

●第43回小児皮膚科学会から

令和元年7月21日

ADA2(adenosine deaminase-2)欠損症は血管炎をきたす

遺伝性自己炎症性疾患として難病に指定されている疾患の1つで、ADA2遺伝子の機能喪失型変異による常染色体劣性遺伝性疾患である。

結節性多発動脈炎に類似する中小動脈の血管炎をきたし、脳梗塞などの臓器梗塞を若年齢で発症することが特徴。

発熱、網状皮斑、麻痺や痺れなどの神経症状、静脈閉塞や視神経萎縮、胃腸炎症状、筋肉痛、関節痛、高血圧、腎障害、白血球減少や貧血、血小板減少、低ガンマグロブリン血症、自己免疫性リンパ増殖性疾患様症状など多彩な臓器障害をきたす。

近年、抗TNF療法の有効性を示す報告が増えてきた。

一言コメント

「全国でもまだ10例程度しか診断されていない稀少疾患とのことだが、皮膚症状が血管炎ということで興味深い。一応覚えておこう。」

●第43回小児皮膚科学会から

令和元年7月21日

持続する鶏卵アレルギーはVitellogeninが原因か

免疫ブロットで患者血清中のIgE抗体と結合する蛋白質を質量分析で同定する手法を用いてアレルギーコンポーネントを検索した。

卵アレルギーの患児からはオボムコイドなどの既知のアレルゲンのほかに、卵黄中にあるVitellogeninが検出された。

臨床的に鶏卵アレルギーが小児期から持続する患者、成長してから発症した患者に多く、通常の鶏卵アレルギーの経過とは異なる特徴があった。

一言コメント

「Vitellogeninはエストロゲンから肝臓で合成され、卵黄に貯蔵されている蛋白で、生物に普遍的に発現している。またメスだけではなくオスにも簡単に誘導できることから環境ホルモン(内分泌錯乱化学物質)のモデル蛋白とされている。鶏卵アレルギーの概念が大きく変わる貴重な報告だった。魚卵との交差反応はあるのだろうか。」

●第27回横浜市医師会保育園医部会研修講演会から

令和元年7月26日

乳児用液体ミルクに関する省令改正

災害時における母乳代替品を確保する観点から、避難所などで水の確保が不可能な状況を踏まえ、液体ミルク(乳児用調整液状乳)の成分規格基準が食品衛生法に追加され、特別用途食品としての許可を得た。江崎グリコと明治から製品が販売されている。避難所での備蓄を推進し、発災時には日本栄養師会災害支援チームが運営する特殊栄養食品ステーションを通じて搬送や提供を行うことになった。

一言コメント

「平成28年4月の熊本地震の際にフィンランド製液体ミルクが保育施設で配布されたことがきっかけになった。厚労省、消費者庁、農水省の省令改正が必要だったとのこと。皮膚科医も知っておくべきだろう。」

●某製薬会社主催講演会から

令和元年8月4日

妊娠中の抗ヒスタミン薬とステロイドの注意点

抗ヒスタミン薬が妊婦が禁忌になっているのは、ヒドロキシジンパモ酸塩、米国で口蓋裂のリスク増加が報告されている。そのほかオキサトミド、トラニラスト、ペミロラストカリウムの4種類。また母体に投与された内服ステロイドがどの程度胎児に移行するかは、プレドニゾロンが10%、メチルプレドニゾロンが30~50%、ベタメサゾンが30~50%、デキサメサゾンが100%である。

一言コメント

「いずれも基本的な知識として重要。母体の治療に用いるステロイドはプレドニゾロンが無難で、胎児の治療に用いるのはデキサメサゾンということ。」

●第22回パッチテスト・プリックテストハンズオンセミナーから

令和元年9月8日

リコンビナントアレルゲンの入手方法

pollen-food allergy syndoromeでは新鮮な野菜や果実の粗抗原でプリックテストを行うのが通常だが、BIOMAY Recombinant Allergen ShopではリンゴのMal d 1などいくつかのリコンビナント抗原が入手可能である。また、ラテックスアレルギーでは1 cm四方にカットしたゴム製品を、生食5 mLに入れて浸透混和して30分放置し、液性成分を粗抗原とするのが通常だが、主要抗原であるhevein(Hev b 6)も入手可能である。

一言コメント

「Hev b 6は使えそうだが、200 μ gで500ユーロ、1 mgで1,600ユーロもするらしい。たびたび必要になるものでもないし、要検討とした。」

●第27回神奈川県皮膚科医会在宅医療勉強会から

令和元年9月12日

拘縮予防のポジショニング

寝たきりになると、重力に対して姿勢を保つために働く抗重力筋の過緊張が生じ、筋性拘縮の原因となる。仰臥位のポジショニングの基本は以下の5つ。
①首の後ろにすき間がないこと——枕を深く入れる。
②肩が内側に入り、両肩甲骨が外側に開いていること——肩の下にクッションやタオルを入れる。
③腰が反っていないこと——膝を深く曲げ、膝の下に大きなクッションを入れる。
④膝裏にすき間がないこと——無理に足を伸ばすのはNG。
⑤肩と骨盤がそろっていて背骨にねじれ・傾きがないこと——両膝に手を添え、背骨がねじれていない正しい位置へ動かす。

一言コメント

「皮膚科医も知っておくべきだろう。在宅でこういったアドバイスができるようになればいいと思った。」